

問い合わせ先
 土木部公共工事契約課
 公共工事契約管理係
 0742-27-7425

平成21年度 第3回 奈良県入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成22年 2月15日 (月) 県庁議会棟2階第一委員会室	
委員	委員長 池田 敏雄 委員長代理 川崎 祥記 伊藤 忠通 川村 容子 久保 博子	
審議対象期間	平成21年 8月 1日～平成21年 11月 30日	
抽出案件	8 件	(備考) ○審議対象期間中の総契約件数、指名停止措置状況、入札契約制度の適正化に係る取組状況並びに談合情報の対応について説明
一般競争入札	6 件	
指名競争入札	1 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	回答 次 頁 参 照	
委員会による意見具申又は勧告の内容	<p>○抽出案件については、不正を疑わせる内容もなく、概ね妥当であると考えている。ただし、落札率が高い案件、入札参加者が少ない案件について検討すること。</p> <p>○入札制度全般について最低制限価格への張り付きや、くじ引きの多発がみられる。総合評価の拡大など改善の余地があるのではないか。</p> <p>○入札制度について、健全な競争環境整備と品質確保に努めること。</p> <p>○発注時期についても、発注が一時期に集中することがないように検討すること。</p> <p>○電子入札及び、一般競争入札の拡大にさらに努めること。市町村に対しても指導的役割を果たして普及を図ること。</p> <p>○制度改正など、入札に関わる県の動きについては、業者等に対して積極的に情報提供を行い混乱が生じないように努めること。</p>	

質 問	回 答
案件1(平成20年度県営林道開設事業 那知合永井線2工区入道橋工事 第10号)	
○落札率が高い理由は。	●施工条件がかなり厳しいため、応札額が高くなったのではないと思われる。
○3者のうち1者辞退、1者失格、事実上1者入札により落札され、競争入札にならないのではないのか。	●総合評価落札方式により入札を執行しているため、競争性は確保されており問題ないと思われる。
案件2(国道168号 地域活力基盤創造交付金事業(道路改良)他 第1-35-2号)	
1者しか応札しなかった理由は。	●1回目は応札がなく、2回目は1者応札があったが失格になり、3回目も1者の応札があり落札決定となった。鋼橋上部工の案件であるが、小規模工事なので技術者が拘束されること等、収益性が低いと判断されたのではないと思われる。
案件3(一般県道香芝太子線 地方道路交付金事業(道路改良)・地域活力基盤創造交付金事業(道路改良) 第 線1-19-6・1-19-4号)	
○特に失格者が多いのはなぜか。	●総合評価の工程表様式の記載ミスが多発した。工程表の注意書の欄には工種については「レベル3」までと記載されているが、遵守していない業者が多数いた。書き方については総合評価落札方式の説明会等で周知を図っている。
案件4(初瀬ダム 初瀬ダム堰堤改良事業 工事 1-3-1-1号)	
○落札率が高い理由は。	●機器自体が大半を占めるため、落札率が高くなったと思われる。
案件5(主要地方道五條吉野線 地域活力基盤創造交付金事業(道路改良)第3-24-1号)	
○落札率が高い理由は。	●鋼製棧道工ということで、原材料や鋼材等の費用の占める割合が高く、落札率が高くなったと思われる。
案件6(第二浄化センター 低流入ゲート更新工事 第二浄化第200号)	
○応札者が3者となっているが、この3者以外でこの案件を施工できる業者は何者いるのか。	●県が把握している過去同程度の施工実績を持つ業者は20者程度と思われる。
○機器については自社製造しているのか。	●自社製造して取付している業者もいるが、自社で設計、製造を外注して取付している業者もいる。
案件7(多武峰見瀬線他 活性化交付金事業(やさしい奈良のみち案内事業)他)	
案件8(R369号 経済危機対策臨時交付金事業(交安))	
○随意契約の理由は。	●当該事業について管路本体を施工し、地下埋設物等の状況をよく把握しているため随意契約することとなった。